

オーディオスピーカー

## 名機、よみがえる

鶴岡の職人集団



鶴岡市に、オーディオ用スピーカーの修理で全国の愛好家に知られる職人集団がいる。JBL(米国)やタンノイ(英国)、そして国産のヤマハやパイオニアなど。製造から数十年の時を刻んで劣化し、故障したビンテージと呼ばれる高級スピーカーを、熟練の手と耳を頼りに修理し、往年の音を今の時代にようとしている。その評判はインターネット上で拡散し、修理予約は来年10月まで埋まっている。朽ち果てようとしている世界の名機が全国各地から次々と持ち込まれ、これを再生している小さな工房を取材した。

(鶴岡支社・豊田益宏)



15歳でスピーカーと出会い、四十数年にわたって真剣に向き合い続けている佐藤絹子さん。愛好者は「神の手と耳を持つ達人」と信頼を寄せる

=鶴岡市

スもある。それも把握して参入し、国産のオーディオが輝きを放っていた時代藤さんの体に染み込んでいた一つ一つのスピーカーの音や響きの特性、傾向が佐藤さんによく覚えていて、それを活かして修理を行っている。そのため、修理技術を磨き上げてきた。誰でもできますよ」。佐藤さんはそう言つた。しかし、「誰にでもできる」とことを誰にもまねできないほど徹底して突き詰めることは難

い。四十数年にわたって続いている「凡事徹底」が、神の手と耳の正体なのかもしれない。佐藤さんは

### 数値化不可能

「理屈では説明できない。機械で測定できないし、数値化も不可能」。そう話す小川社長は「長い歳月をかけてトライアンドエラー(挑戦と失敗)を積み重ねてきた経験に裏打ちされた技術としか言いようがない」と説明した。

佐藤さんは鮎川村出身。

## 四十数年もの「凡事徹底」

中学校を卒業した1972年、同じメー

15歳からスピーカーと真剣に向き合い、長い歳月をかけてこつこつと自分の才能を磨き上げてきた。「誰

にでもできますよ」。佐藤さんはそう言つた。しかし、「誰にでもできる」とことを誰にもまねできないほど徹底して突き詰めることは難

「それは、オーディオ専門誌の記者さんが勝手に書いていただけですから」。佐藤絹子さん(60)は照れ笑いを見せた。全国のオーディオ愛好家から「神の手」「神の耳」を持つスピーカー修理の達人と呼ばれている。専門誌がス部。スピーカー修理を専門とする13人の職人集団は、この部署に所属し、佐藤さんは部長職に就く。「神」は、どのようにして特別の手と耳を佐藤さんに授けた。が壞れているのか見当を付

「故障したスピーカーかなる異常音を識別し、どこも、製造時期によって音が変わっているのか」。

小川電器商会(鶴岡市上畠町、小川祐一社長)のオ

「故障箇所によつて微妙に異

が壊れているのか見当を付

わざかに変化しているケ

ー、ダイヤトーン…。国内

メーカーが音響部門に次々

### 異常音を識別

小川電器商会(鶴岡市上

畠町、小川祐一社長)のオ

ら音を出し、異常音を聞き

が分かる。同じシリーズと

して商品化されたもので

が、神の手と耳の正体なのかもしない。佐藤さんは